



情報技術を活用した 地域学の取り組み



網走市オホーツク・文化交流センター

網走市の概要



- 行政面積 471km²
- 人口 32,835人 (17,974世帯)
(令和5年12月末住民基本台帳より)
- 基幹産業 農業、水産業、観光業
- 学校数 小学校9校、中学校6校、
公立高校2校、日体大付属高等支援学校、東京農業大学

女満別空港

網走湖

網走刑務所

オホーツク・文化交流センター

網走川

史跡モヨロ貝塚

オホーツク海

網走港



網走市オホーツク・文化交流センターの概要

2000年11月 「オホーツク・文化交流センター条例」制定
オホーツク・文化交流センター(市立図書館併設)設置
(建築面積5,083㎡/延床面積8,453㎡/4階建)

2005年11月～ 「あばしりまなび塾フェスティバル」開始

2006年 9月 第50回北海道公民館大会開催

2009年 3月 第3次社会教育長期計画策定(2009-2018)

2010年 4月～ 「あばしり学講座」開始

2011年 4月 WiFi機器整備

2014年 4月 社会教育法第24条の規定に基づく「公民館」とする内容へ
条例改正

2014年 8月 北海道科学大学と網走市との連携協定締結
(共同研究や市民への学習機会の提供など)

2015年 8月～ 北海道科学大学との連携講座開設

2019年 3月 第4次社会教育長期計画策定(2019-2028)

2023年 7月 教育DXフェロー配置

2023年11月 フリーWiFi、オンライン予約システム整備

中ホール(座席数465名)、大会議室(定員120~200名)、
会議室2室、学習室3室、研修室3室、視聴覚室、交流室(和室)3室、
茶室、クッキング室、創作室(窯室)、工芸室2室、展示室、
リハーサル室(舞踊室)、音楽練習室(防音室)、楽屋2室、乳幼児室1室

『あばしり学』取組みの背景と目的

【背景】

「まちづくりのための学び」を軸として5つの基本目標を掲げる『社会教育長期計画』を策定。

網走の歴史や自然・産業などを学ぶ機会を『あばしり学』として発展的に提供することとし、2010年度から取組みを開始。

【主な取組み内容】

- 子どもやおとなまでを対象とした「あばしり学(地域学)」
- 高校生や大学生を対象とした「学生ヒーローズ事業」
- 青年層のまちづくり意識の高揚を図る「^{アンダー}U-35事業」

新型コロナウイルス感染症拡大による学習機会への影響と対応

【課題に対しての取組み内容】

DX推進の取組み

- ・Googleフォームの活用
- ・オンライン予約システムの導入
- ・施設のフリーWiFi化
- ・講座情報のSNS発信 など



厚木市と網走市

令和4年10月26日(水) 網走市寿大学教養講座

ICT技術を活用した新しい学習機会の提供

- ・ハイブリット型講座の開設
- ・オンラインを活用した交流事業の実施
- ・ICT技術を取り入れた講座の開設 など

あばしり学講座

「網走市ローカル魅力発掘発信ワークショップ」(全3回講座)

あばしり学講座
高松市、地域の情報発信

街中を歩いて
魅力を発掘
しよう!

網走市ローカル魅力発掘発信
ワークショップ

あばしり学×ふるさと納税 byアフリテイ

あなたが愛する地元の色をカタチにして、全国に届けよう!

自分たちの街の魅力をどうすれば
もっと効果的に伝えられるのか...

2022. 第1回 8.20
第2回 9.10
第3回 9.11
3-DAY workshop

【講座内容】

- 第1回 街あるきで魅力を発掘しよう
- 第2回 街あるきで魅力を発掘しよう
- 第3回 「人に伝わる」発信の作り方を学ぼう

- 1回目 座学 → フィールドワーク → ワークショップ
- 2回目 1回目フィールドワークのレポート発表 → 講評 → 再フィールドワーク → ワークショップ
- 3回目 最終レポートの講評 → レポートの投稿

【対象】 市民及び網走が好きなお方(定員20名)

【講師】 中野宏一 氏 (合同会社イーストタイムズ代表社員CEO)

【主催】 オホーツク・文化交流センター

【共催】 株式会社JTB

【協力】 合同会社イーストタイムズ

<取組み検証>

- ① 情報機器の数にも制限があり参加定員を設けたが、**情報技術を活用することに興味のある一般市民、公民館講座に来ることのない市民の参加も見られた。**
(情報リテラシーへの関心の高さ)
- ② 地域学と情報技術の活用を融合した講座を開設したことで、**市民目線の地域の魅力発掘・発信につながった。**



あばしり学講座 「VRを使って網走を楽しもう！」(全2回講座)

会場 エコセンター 2000 学習室 ABC (3階)

2024 for あばしり

なにが見えるかい?
対象: 網走市内の小学4年生~中学3年生

参加無料

- オリエンテーション
- VRに親しむ
- AR塗り絵準備

2.4土 10:00~15:00

10名

- 雪像を撮影
- 画像編集
- 完成試写

2.11土 10:00~15:00

あばしり学講座・北海道科学大学連携講座

申込締切: 1月27日(金)

持ち物: 筆記用具

VRで網走を楽しもう!

360°カメラで雪像を撮ってみよう!

ARがある

主催: エコセンター2000 / 北海道科学大学 / 株式会社 三技協
協力: 北海道科学大学雪嶺会(同窓会) 網走支部
あばしりオホーツク流氷まつり実行委員会

講師: 北海道科学大学工学部 電気電子工学科 木村尚仁 教授
申込み・問合せ先: エコセンター2000 内 社会教育課生涯学習部 (電話: 43-3705)

【講座内容】

- 第1回 VR体験、塗り絵AR体験
- 第2回 360度カメラを活用して雪像撮影、動画編集、完成試写

- 1回目 オリエンテーション→VR体験→塗り絵AR
- 2回目 360度カメラを使って動画撮影→動画編集→動画のYoutube掲載→動画試写

【対象】 小学4年生から中学3年生(定員10名)

【講師・監修】 木村尚仁 氏 (北海道科学大学電気電子工学科教授)

【主催】 オホーツク・文化交流センター

【共催】 北海道科学大学、(株)三技協(神川県)

【協力】 (株)ダブルエムエンタテインメント(札幌市)
北海道科学大学 雪嶺会(同窓会)
あばしりオホーツク流氷まつり実行委員会

<取組み検証>

- ① 最新の情報技術を体験してもらう講座としたことで、**子どもたちの参加意欲の喚起**につながった。
- ② 子どもたちには普段なかなか交流機会のない大学生に教わることを通じて、横のつながり、縦のつながりのほかに、**斜めのつながり**をつくることができた。



今後の取り組みについて（おわりにかえて）

① 市民や地域に信頼される公民館活動の推進

- ・地域づくりの担い手の育成（人づくり）
- ・コミュニティの強化（人と人とのつながりづくり）
- ・学習を通じた課題の解決（地域づくりの推進、サークル・団体の自立運営など）

② デジタル技術の一層の活用

- ・オンラインを活用した地域間・国際間交流の促進
- ・ハイブリット型講座の充実
- ・講座アーカイブなどを活用した「仮想公民館」の設置へ
- ・電子決済、電子キーを活用した貸館事業の開始へ

③ 大学や企業などと連携した事業の展開

- ・事業や講座に応じて得意分野の大学・企業との連携（双方にメリットをもたらす仕組みづくり）
- ・創造的な事業、地域づくりなどの分野で協力



ご清聴ありがとうございました